

平成 25 年度を迎えて

先の国大化学会ニュース(平成25年4月発行)でお知らせいたしましたように、平成25,26年(一期)の役員は平成23,24年と同じ人々をお願いして(学内役員の一部は学内の人事よる変更、学生役員は新4年生)総会で正式にきまりました。2年間よろしく願っています。

活動については同じ国大化学会ニュースでお知らせいたしました、その中のうち学生・教育支援と名簿発行についてお話しいたします。

学生・教育支援のうち、成績優秀者表彰の図書券を5,000円(従来2,000円)にいたしました。専門書も高くなってきていること及びこの表彰が勉学へのモチベーションの一助になることを期待して変更いたしました。もう一つは奨学金的な支援を実施すべく、その具体化を検討して今年の後半には実施したいと考えています。

次に会員の交流、会費納入促進などのもととなる、名簿をインターネット利用システムに変更し、平成26年度に実施できるよう名簿ワーキンググループで検討しております。パソコンを使っていない会員を含め、すべての会員が便利に利用できるよう鋭意検討してまいります。

国大化学会総会

今年度は平成25年6月8日(土)に大学で開催いたしました。ここ数年は横浜崎陽軒本店で開催してきましたが、工学部も理工学部になり(平成23年)新しい大学を会員の皆様にも知っていただく良い機会と考え大学開催を決めました。

大学でしかできないことを考え、各研究室の先生方のご協力を得て「キャンパスツアー 化学棟見学 学生との交流」を実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

“名教自然”の碑の前での写真撮影、弘明寺で卒業された会員にとっては懐かしくもあり、その教えの大切さを思い起こされたのではと思います。この碑の教えを伝える責任があると感じました。

今年の講演会は鈴木邦雄・横浜国立大学学長をお願いして、「熱帯に魅せられて・或る生態学者が語る」との演題で講演をいただきました。普段なかなか聞く機会のない学長の違った魅力をお聞きいたしました。熱帯雨林とくにマングローブなど興味あるお話、その

国大化学会会長 平井太一郎(昭和41年2部応化卒)



なかには多くの人々の協力で学問も大学運営も行われていると感じました。ありがとうございました。

次に会場を理工学部第2食堂に移動し、懇親会になりました。鈴木副会長の挨拶に始まり、公益財団法人横浜工業会井上誠一理事長と三工会上ノ山周会長に来賓の御祝辞をいただき、続いて樋口修一郎初代会長の音頭で乾杯、懇親の場となりました。

国大化学会総会の特徴としての多くの学生会員の参加は今年も引き継がれて60人の参加となり学生会員は先輩から多くのことを学んだことと思います。

久しぶりの大学での開催で運営に当たった役員の皆様たいへん苦勞されたことも多かったことと推察します。担当された役員の皆様、事務局の滝さん、反町さんおよびお手伝いいただきました学生の方々本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。

9月のリーダー会議では来年の国大化学会総会を検討して、会員の皆様に早くお知らせできるように致します。

ホームカミングデー(第8回)の参加を!

今年度は10月26日(土)に理工学部同窓会連合の担当で開かれます。国大化学会 唐石俊之氏(電化51年卒)に実行委員をしてもらっています。

より多くの参加をお願いいたします。

メイン講演 : 独立行政法人科学技術振興機構顧問
前内閣府総合科学技術会議議員
元東京工業大学学長

相澤益男氏(工学部電気化学科1966年卒)
(国大化学会会員 2012年国大化学会総会で講演)

来年の国大化学会総会が決まりました!

平成26年5月31日(土) 横浜 崎陽軒本店
詳細は後日ご連絡いたします。